

地域活動実施報告書（A）

令和 6 年 11 月 28 日

メンバー（所属） ○＝代表者	○ 伊藤巨志（教授・人間生活学部・子ども学科） 寺山公園子育て交流施設 「い～てらす」 株式会社 BSN キッズプロジェクト
-------------------	--

活動テーマ
オリンピック Year！「遊育（ゆういく）」推進のための親子運動遊び
活動の目的
運動遊びをとおして知覚（視覚，聴覚，筋運動感覚）を使い，予測や意志決定，動きの記憶を基に道具の有無による多様な運動を行い，運動コントロール能力である調整力を養う経験をする。親子で「できる」「できた」体験を多く行い，運動有能感を実感できるイベントを実施する。特に，保護者には子どもと一緒に動き，観察することで，家庭での遊び方や成長に合わせた難易度などの設定方法や説明を聞きながら実践する。家庭において継続的に実施することで運動能力の向上を目指す。
活動の内容
新潟市東区寺山公園交流施設「い～てらす」とBSNキッズプロジェクトの全面協力の下，遊育ワークショップを企画・実施いたしました。 BSNラジオ「立石勇生のSUNNY SIDE」番組内での広報，BSNのHP，い～てらすのHP，新潟市東区区民だより（9月15日号）による広報活動を行いました。 10月26日に5歳以上の未就学幼児16組，11月9日に小学校低学年6組の親子の参加があり，BSNキャラクター「ハレッタ」との写真撮影や触れ合いタイムを設定後に実施したこともあり，柔らかい雰囲気から和気藹々と進みました。 「モノや道具を使わない遊び」として，片足立ちでバランスを取ったり，腕支持運動（はいはい，熊歩き，カエル跳び，兎跳びなど），両足・片足ジャンプをしたりすることで，身体の調整力を養う基本運動を親子で実践しました。「はいはい」は，大人自身が忘れていた感覚を確認することができたのではないかと考えています。 「モノや道具を使う遊び」（家庭や100均で買える身近なものを使って）は，新聞紙を振ったり回したりして新聞紙の動きを身体で表現する遊びや，ジャンケンをして負けたら半分に折る事を繰り返し新聞紙の上でバランスをとったり，新聞紙を丸めて親子でキャッチボールをしたりなどバランスや投げ動作を行いました。折り紙を折って飛行機を作り，飛ばしたりキャッチしたりして不規則に動く折り紙飛行機を楽しみ，投動作を練習することでボール投げに役立つことを実践しました。また，風船を手や脚，頭で落とさないようにコントロールしたり，親子で対決したりして風船のフワフワ感を楽しみました。養生テープを風船に巻くだけで反発力が強くなり高度な遊びへと進化することを経験しました。

地域活動実施報告書（A）

令和7年1月27日

メンバー（所属） ○＝代表者	○ 国際地域学部 国際地域学科 関谷浩史
-------------------	-------------------------

活動テーマ	
「ぼうさい国体 2024in 熊本」への出展 —子どもに向けたメタバースを活用した防災教育—	
活動の目的	
大阪公立大学と連携した「コミュニティ防災人材育成プログラム『MUSUBOU』」をもとに、災害リスクを減らす防災活動の担い手「コミュニティ防災人材」を育成すべく、地域を散策しながら災害リスクを探索して得点化する「防災ゲーム」を開発し、防災人材としての子どもの可能性に関する考察を試みた。さらにこの結果を「ぼうさい国体 2024in 熊本」で発表し、防災専門家からの意見をもとに修正した内容を地域にフィードバックすることで、地域の防災計画の質の向上に寄与する。	
活動の内容	
1）研究成果の整理：コンテンツ作成 関谷研究室と大阪公立大学との連携を通じて研究成果を融合し、地域の災害リスクを軽減させる仕組みを提案すべく、実験結果や結果分析を通じた防災コンテンツの見直しを図り、国内最大の防災イベント「ぼうさい国体 2024in 熊本」にて発表した。 2）研究成果の見える化：ポスター制作 2024年開催の第9回「ぼうさい国体」は、「復興への希望を熊本から全国へ」というスローガンのもと、災害経験のある研究者が集い、研究成果を通じて災害を振り返る機会の提供を意図している。 関谷研究室は大阪公立大学との研究成果をポスターセッションで発表した結果、近年の災害的課題である「コミュニティ力不足」に対し、「コミュニティ防災人材育成」はタイムリーなテーマであり、子どもを新たなコミュニティ防災人材として「地域コミュニティの一員に育てていく意義」の高さと、防災ゲームによる「主体性を養う防災教育の将来性」が評価された。 3）研究成果の共有：チラシ配布 「ぼうさい国体」での発表を契機に、地域の防災活動の啓発を目的に、発表成果を地域住民に周知させるべく、万代地域コミュニティ協議会を通じて地域に配布した結果、「コミュニティ防災人材育成」の活動意義が認められ、「万代地区防火防犯防災連合会」における次年度の継続事業に取り上げられた。	
	
「ぼうさい国体 2024in 熊本」での発表ポスター及びチラシ	